



2020年5月13日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(J A S D A Q コード : 6 6 6 6)
問合せ先 執行役員総務本部長 大柴 公基
(TEL . 0 5 5 1 - 2 2 - 1 2 1 1)

2020年3月期 連結業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正 並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、2020年3月期の通期個別業績につきまして前期実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,709	百万円 32	百万円 11	百万円 10	円 銭 1.45
実績値 (B)	4,479	5	△8	87	11.88
増減額 (B - A)	△229	△26	△19	76	
増減率 (%)	△4.9	△82.3	-	719.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	4,226	△676	△681	△753	△102.21

修正の理由

売上高は、スマートフォン市場において小型音叉型水晶振動子の受注が想定を上回ったものの、開発の遅れや市場環境の変化等により新製品の投入に遅れが生じ、受注が想定を下回ったことなどから、売上高は当初予想を下回りました。

営業利益及び経常利益は、新製品の減収の影響などから想定を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、当期実績および今後の業績動向を勘案して繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額がマイナスになったことなどから想定を上回っております。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月13日発表)		未定	未定
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主の皆様への安定的な配当を継続的に行うことを経営上の重要な政策として位置付けており、業績の状況や配当性向、内部留保の充実などを勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、当期の個別決算において利益剰余金がマイナスの状態にあり分配可能な額の確保が困難であるため、これまで未定としておりました当期の期末配当金予想を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 2020年3月期 通期個別業績値と前期実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 3,902	百万円 △123	百万円 △658	百万円 △664	円 銭 △90.10
当期実績 (B)	4,092	92	51	118	16.05
増減額 (B - A)	190	216	709	782	
増減率 (%)	4.9	—	—	—	

修正の理由

売上高は、無線モジュール、車載関連向けは前期を下回りましたが、スマートフォン向けが伸長し、増収となりました。営業利益は、不採算取引等の見直しや増収効果により増益となりました。経常利益は、主として関係会社事業損失引当金繰入額（営業外費用）が498百万円減少したこと、また、当期純利益は、繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額がマイナスになったことなどから増益となりました。

以 上